

佐々木東洋 ささきとうよう 蘭方醫。天保十年六月二十一日江戸生れ、大正七年十月九日歿（二八元一八九）。號無住。佐倉の順天堂、オランダ人醫館ホッペル館ホッペル館。西洋醫學所教授、幕府軍醫、大學東校中助教歴任、

佐藤尚中の博愛社勤務、醫學校附屬病院院長を經て、東京神田に開業。

明治十一年神田の脚氣病院主任、十四年杏雲堂醫院を設け、十四年長興專科とて西會社西會社の製製の醫制を發議、二十一年東京醫學會會長。

著書『救荒拾芳』（言佛論）、『醫堂對問』（醫堂對問）、『大内書翰合著』 明治二十一年一月二十

八日京都・透善社、『雜耕』、『大家實地演說集』（合著）、櫻井鎌造編、明治

二十一年二月（白石川傳吉刊、正文堂發行）等。上原益胤著『佐々

木東洋先生略傳』（昭和五年十月一日刊、無刊記）刊。